

第1回 多職種のための投稿論文書き方セミナー

日本小児保健協会は、機関紙「小児保健研究」を年6回電子ジャーナルとして刊行し、会員による研究発表や会員への情報伝達の場になっています。編集委員会では、これから投稿論文を執筆する医師、看護師、保健師などのコメディカルをはじめ、保育、福祉、教育、行政など多職種の会員を対象に、投稿論文の書き方セミナーを開催します。第1回は入門編として以下の内容で実施いたします。皆様の参加をお待ちしております。詳細については、日本小児保健協会ホームページ(<http://www.jschild.or.jp/>)をご覧ください。

編集委員長 徳村 光昭

記

日時：2017年6月30日(金) 10:40～11:40 (第64回日本小児保健協会学術集会会期中)

会場：大阪国際会議場(グランキューブ大阪)10F 第2会場

(〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-51)

主催：公益社団法人日本小児保健協会 編集委員会

対象：医師、看護師、保健師、保育士、その他これから投稿論文を執筆する方

定員：150名

参加費：無料(ただし学術集会参加費を必要とします)

申込：E-mailにて日本小児保健協会事務局にお申込みください。お申込みが定員に達した場合には、ご連絡いたします。

プログラム

1. 「研究論文にはどのような種類があるの？」 国立精神・神経医療センター 堀口 寿広

まだ論文を書いたことがない人を対象に、「研究論文にはどのような種類があるのか」、「研究計画の立て方・準備方法」、「論文の書き方」について、専門用語を避けてわかりやすい言葉で解説します。「次の研究の着想を得たい方」、「論文執筆の指導に関わる方」にも参考にしていただければ幸いです。

2. 「研究倫理ってなに？」 九州大学病院 臨床研究推進部門 河原 直人

昨今、話題となっている研究の倫理をめぐる様々な問題を整理し、研究および論文執筆をする際に求められる留意点をわかりやすく解説します。「ヘルシンキ宣言」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」、「研究の公正性に係る対応のあり方」、「データの捏造や改ざんなどの研究結果の発表に係る諸問題」を取り上げます。